

令和2年2月長浜市教育委員会定例会 会議録

I. 開催事項

1. 開催日時

令和2年2月19日（水） 午後3時00分～午後4時5分

2. 開催場所

教育委員会室（長浜市八幡東町632番地 長浜市役所5階）

3. 出席者

教育長	板山 英信
委員	井関 真弓（教育長職務代理者）
委員	西橋 義仁
委員	廣田 光前

4. 欠席者

委員	美濃部俊裕
委員	宮本 麻里

5. 出席事務局職員

教育部長	米田幸子
次長兼教育総務課長事務取扱	岩田健
次長	横尾博邦
教育改革推進室長	土田康巳
教育指導課長	伊藤浩行
すこやか教育推進課長兼学校給食室長	大田久衛
幼児課長	大音洋
教育センター所長	野村幸弘
歴史遺産課長	山岡万裕
歴史遺産課副参事	市村妙子
教育総務課長代理	今井健剛
教育総務課主幹	西川洋輔

6. 傍聴者

なし

II. 会議次第

1. 開 会

2. 議 事

- 日程第 1 会議録署名委員指名
- 日程第 2 会議録の承認
- 日程第 3 教育長の報告
- 日程第 4 議案審議
- 日程第 5 協議・報告事項
- 日程第 6 その他

3. 閉 会

Ⅲ. 議事の概要

1. 開 会

教育長から開会宣言があった。

2. 会議録署名委員指名

井関委員、西橋委員

3. 会議録の承認

1 月定例会

特に指摘事項はなく、1 月定例会の会議録は承認された。

4. 教育長の報告

教育長：日程第 3、教育長の報告でございます。

まず、第 1 番目でございますが、新型コロナウイルス関連の長浜市の状況を説明させていただきます。

新型コロナウイルス感染症につきましては、早くから本市でも他市との情報交換も含めて対応を考えておりまして、基本的に現在対応の原則にしていますのは、2 月 10 日付で出ました文部科学省の通知でございます。このフローチャートに従って、中国本土から何らかの事情で一時帰国または帰国なさった方の子どもが市内の校園に体験入学並びに転学を希望した場合などの対応を進めていくこととなります。

これは、帰国の段階で特に症状がない子どもについては、2 週間の経過観察をして、症状が見られない場合については各校園での受け入れをしていただきたいという文部科学省の通知でございます。帰国した段階や 2 週間の経過の期間中に何らかの症状が出た場合には、医療機関等の正確な受診、検査をしていただきます。

現在のところ、長浜市内で感染が確認されている例はないと聞いておりますが、長浜市内には何らかの形で日本語指導が必要な、外国籍であるとか、日本国籍であっても外国で生活している期間が長い子ども、小・中合わせて 276

名が現在在籍しております。この276名のほかに、日本の小・中学校には行っていないけれども、例えばラチーノ学院等の学校に行っている子どもも若干名いると聞いております。276名中、中国語を話す子どもは11名ということでございます。幼稚園では、中国語が日常言語になっている子どもが1名というように把握をしております。長浜市内全体で中国から来た、中国の国籍を持つ方が大体800名ぐらいいるという状況でございます。近隣で次々に感染が確認されている方が出ておりますので、こういう状況を考えますと、滋賀県も長浜市も感染が確認されるということを前提に現在も対応しているところでございます。

いずれにしても、学校には事前に消毒薬の追加配布も済ませて、手洗いをするように健康安全指導を強化していただいている現状でございます。マスクも、教育委員会在庫分を抱えておりますので、もし市内の校園で必要な場合は配布する等の方策も考えていきたいという状況でございます。

続きまして、2つ目でございますが、「未来をになう長浜っ子」育成プロジェクトの委員の皆さんに小・中学校の授業を見ていただいています。最近、英語の授業がどのように行われているのか知りたいという方が多いので、本日も高月中を訪問し、授業を見ていただいています。最初から最後まで見ていただき、終わった後、校長室で参加された方からお話をいただいているところでございます。

今日の授業も、委託で来ていただいているイギリス人女性のALTの方でしたけれども、見事なものでした。中学校1年生の子ども向けにわかりやすく、ゆっくり、きれいに発音をしておられましたので、非常に子どもたちも意欲的でした。反面、やはり一斉授業スタイルの課題は存在すると思いました。グループでやっていると言語能力が高い子を中心に進んでいきますので、能力の低い子は流されている部分も確かにあるだろうと感じました。これから先の大きな課題になってくるかと思えます。英語教育につきましては、議会の答弁でも、長浜の英語教育も第2段階に入っていくという答弁をしていますので、令和2年度、3年度にかけて、形をつくっていったらと考えているところでございます。

主な質疑応答は以下のとおり

西橋委員：1番の件ですけれども、2月10日に文科省から通知文が来てから、方針が割とところどころと変わっています。現場としては、それにどう対応していくのかということが自治体によってばらばらになっているという話を聞いています。今日のニュースを見ていると、文科省から積極的に休ませてくださいという通知が出たようですし、場合によっては休校するように指示が出たようなことも聞いているのですが、インフルエンザと大きく違うのは、インフルエンザというのはお医者さんに行ったらそこですぐ判定されます。新型コロナウイルスに感染しているかどうかはすぐには判定できないので、わかるまでにかなり

時間がかかるのが現状です。

廣田委員：1日かかります。

西橋委員：1日かかって初めて学校を休ませるという形になるのです。そのあたりがこれから変わってくると思います。長浜市でも対策委員会を設けてやっていただいていると思うのですが、私が心配したのは、中国籍の方の家族が、例えば12月とか1月に里帰りしておられないのかというところまで知っておく必要があるのではないかと思います。そのあたりの情報を聞かせていただけますか。

教育長：そういうような具体的な調査はしておりません。これはやはり個人情報との兼ね合いもございますので、例えば今後県なり国なりの指針がはっきり示されてからという判断になると思います。

子どもにつきましては、西橋委員がおっしゃったように、中国籍の子どもを含めて初期症状への対応に敏感に反応をしていただくということが現実の対応かなと思います。

廣田委員：いじめの問題に関しては、ラジオを聞いていますと、すでに神奈川県で発生しているようです。みんな恐怖心を持っておられます。この病気はかなり陰湿で、MERSとかSARSは症状が出てからうつるのですがこれは症状がないときにも結構うつります。実際かかっても病気が発生しないこともわかっているし、本当に対応しにくいものです。原則的には2週間の待機は世界各国で守っておられます。潜伏期間が40日という論文も出ています。台湾の場合はもっと厳しい対策をとっています。例えば、訪れたところを全て消毒し、接触がある人は2週間の在宅待機です。待機中も携帯をチェックし、待機していないと30万円の罰金です。その関係で今台湾では感染がやっと19例になっているのです。最初の一步をはっきり、しっかりやったらいいと思います。日本の場合、正直言って甘かった。本当に残念です。

西橋委員：大学の2次試験に関して、今日ニュースを聞いていたら、東京大学をはじめ、幾つかの大学で、感染している人は受験できないそうです。これを発端にして色々なところに影響が出てきて、市としても教育委員会としても難しい対応を迫られることがあるかもしれませんね。

廣田委員：そうですね。

教育長：中学校3年生のクラスで高校入試の直前に感染者が出るということも、可能性としてないわけではありません。現在も担当を中心に、校医とも連絡をとりながら、検討を進めているところです。

少し調べましたら、海外から日本の学校に転校する場合は、教育権の保障で最大限の配慮をして、迅速に対応することが原則とのこと。こういう場合に、その子の学習権ももちろん大事ですが、他の子の健康、安全への配慮の必要性も出てきますので、そのあたりも難しい問題になってくると思います。

西橋委員：経験したことないような活動をしないといけないことになりますね。

滋賀県や長浜市でも感染者が出るかもしれません。

廣田委員：時間の問題かもしれないです。

教育長：自分が行っていなくても感染することは十分想像できます。校長先生も外国籍の子どもたちの状況把握をきちんとしてくれていますので、いじめも含めて注意しながら見ていただいているところでございます。

5. 議案審議

「議案第1号 議会の議決を経るべき教育関係議案について」は、市議会で審議される前の情報であり、公にすることにより市民等の間に混乱を招くおそれがあることから、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定に基づき非公開としたい旨の発議が教育長よりあり、委員の全会一致で可決された。

議案第1号 議会の議決を経るべき教育関係議案について（会議非公開）

教育長は事務局に説明を求め、関係所属長から資料に基づき説明があった。

各委員とも異議なしということで、原案どおり決定された。

6. 協議・報告事項

審議案件なし

7. その他

廣田委員：インフルエンザの関係ですが、この2週間の間に市内の小学校でインフルエンザB型の発症が続いています。同じシーズンの中でA型、B型両方にかかっている人も時々あります。インフルエンザに一度かかった人はもうかからないという保証はないです。そういったことがありましたので、報告させていただきます。

教育長：インフルエンザはA型もB型も症状は同じようなものですか。

廣田委員：B型は軽いです。

教育長：インフルエンザによる学級閉鎖の状況はどうですか。

すこやか教育推進課長：現在市内の1クラスだけ閉鎖しています。

西橋委員：この間浅井中を訪問した時に、今日から増えたとおっしゃっていました。風邪ばかりとは限らないと思いますが、どの学校を訪問しても各クラスで何人かは机があいていました。

教育長：今年は例年と比べて少ないのですか。

すこやか教育推進課長：少ないです。

8. 閉会

教育長から閉会宣言があった。